

田畑胃腸病院ではカプセル内視鏡を導入しています。

カプセル内視鏡小腸検査

カプセル内視鏡検査とは

カメラを内蔵した長さ26mm×幅11mmのカプセルをビタミン剤のように口から飲み込むだけの内視鏡検査です。カプセルは、消化管内を通過しながら画像を撮影し、画像を記録装置に転送します。医師は、この画像をもとに小腸の診断を行います。



●●●●●カプセル内視鏡検査の流れとは●●●●●

1

検査の前日

- 消化の良い食事を午後10時までに取り、その後の飲食はお控えください。
- 喫煙はカプセルを飲む24時間前からおやめください。



2

検査の始まり

- アンテナを腹部に貼付し、記録装置をベルトで腰に付けます。
- カプセル内視鏡を少量の水で飲み込みます。その後は職場に、ご家庭にお戻りいただけます。

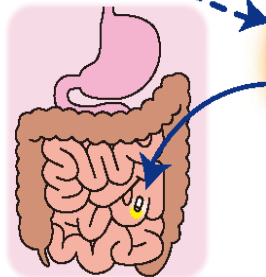
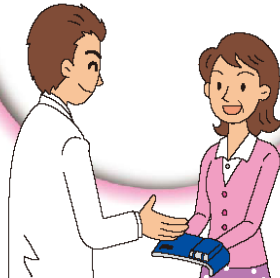


3

検査の終わり

- およそ8時間後、病院に戻り、アンテナと記録装置を返却します。
- カプセルは排便時に、体外に排出されます。

* 排出されたカプセルは所在の回収バッグに入れ、地方自治体や病院のルールに従い、適切に廃棄してください。



カプセル撮影中

カプセル内視鏡検査中の注意とは・・・

- ❗ カプセルを飲んだ後、2時間は絶食ですが、2時間後に水分、4時間後に軽い食事がお取りいただけます。
- ❗❗ 汗をかきような激しい運動は避け、腰を曲げたり、かがんだりしないようにしてください。
- ❗❗❗ カプセルが体外に排出されるまで、MRI検査を受けたり、強い電波や磁場を出す機器の使用や、その周辺に近づくことはお避けください。

便潜血反応、黒色便、下血などの消化管出血のある患者さんには、まず、胃内視鏡検査や大腸内視鏡検査を行います。

食道、胃、十二指腸、大腸に出血の原因となる病変がなく、原因不明の消化管出血の場合、カプセル内視鏡を用いた小腸検査を行います。

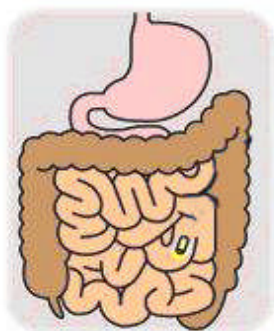
まず始めに・・・



**朝、絶食で
カプセルを
飲みます**



**腹部にセン
サーを貼付
し、レコー
ダーポーチ
を装着しま
す。**



**カプセルか
らの信号を
レコーダー
へ記録しま
す。**



**カプセルは便
と一緒に排出
されます。**

注意していただくこと・・・

検査中は・・・

MRI検査や強い磁場を発生させる電子機器類には近づかないようにしてください。

腰に装着しているレコーダーのランプの色が検査を始めた時の色と変化していないか見てください。

検査後は・・・

腹部のセンサーはご自分では取り外さないでください。

カプセルの排出確認は回収キットを使用してください。

検査終了後、腹痛、嘔気、嘔吐などがあれば病院へ連絡してください。

詳細については医師、看護師へお気軽にお尋ねください

